取扱説明書 ASLEDP-1 (00―11) 保管用

屋外用投光器型スポットライト
(防雨型.スパイク式)
ご使用になられる前に必ずお読み下さい

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕様

品番	適合ランプ	使用電圧
AE-2205	E11 JDR (K3) 35W (別売)	AC100v(±6%)

この取扱説明書のマークについて。

⚠警告　説明書中の　警告　は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の　注意　は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマークについている説明文は、特に注意してください。
⃠ このマークについている説明文は、必ず守ってください。

● 取り付け　取り扱い上の注意

スパイク式
●スパイクは土壌のしっかりした所へ設置してください。
●砂地などの土壌の柔らかい場所に設置する場合は、コンクリ-ト等でスパイクの埋め込み部分を補強してください。
●G.Lまで埋め込んでしっかり固定してください。

⚠警告

傷んだコ-ド（被覆の傷や芯線の露出など）はそのまま使用せず、ただちに電気店に交換をご依頼ください。
★傷んだままで使用を続けると、火災や感電事故の原因となります。

一般屋外用器具(防雨型)です。
振動や衝撃の多い場所、腐食ガスの発生する場所、海岸隣接地帯(塩害地域)では使用しないでください。
★いずれの場合も器具の転倒や落下、破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

次のような場所には取り付けないでください。
○地中差し込み以外の場所　○地盤の弱い場所　○雨水等が地表面にたまる場所や、雪で器具が埋没する場所
★いずれの場合も器具の転倒や落下、破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。
○浴室などの湿気の多い場所への使用。　○サウナへの使用
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

○設置の際は垂直以外の向きに取付けないでください。
★防水性が損なわれ、漏電や感電事故の原因となります。また器具の転倒や破損、焼損の原因となります。

濡れた手で作業しないでください。
★感電事故の原因となります。

ドライバ-など異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⚠注意

ＡＣ100Ｖ専用です。必ずＡＣ100Ｖ(定格電圧±6%)の電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱して、火災の原因となることがあります。
★定格電圧(100V)以外で使用した場合、定格寿命が短くなることがあります。

この器具は周囲温度-20℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火、寿命短縮の原因となります。

照射距離は照射物より50cm以上離してください。

点灯中は器具、特にガラス表面は高温になりますので、ふれないでください。

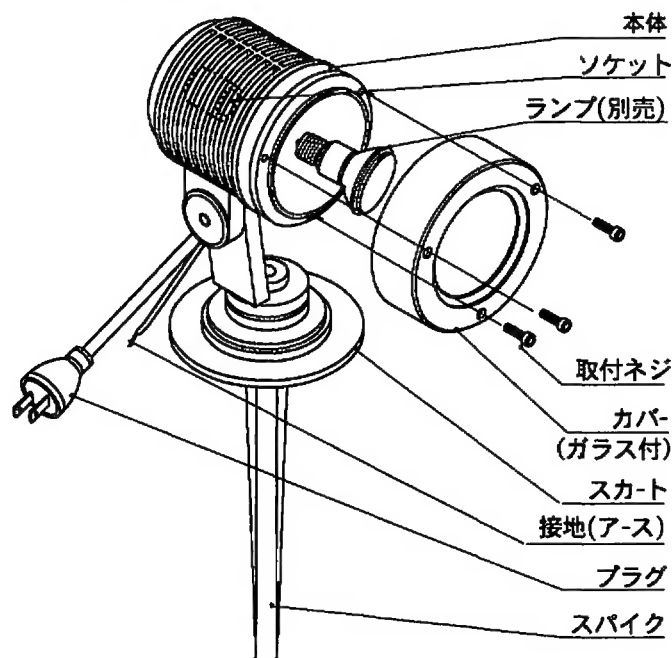
接地（アース）工事は法規で定められていますので必ず行ってください。

ガラスは強化ガラスを使用していますが、割れることもありますので、ご注意ください。

殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバ-のヒビ割れなどの原因となります。

● 各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

■ 器具構成図

■ 付属品

六角レンチ（M6用）――― 1本
六角レンチ（M4用）――― 1本

取扱説明書（本書）――― 1枚

保証とアフターサービスについて－1枚

● 取り付け場所の確認

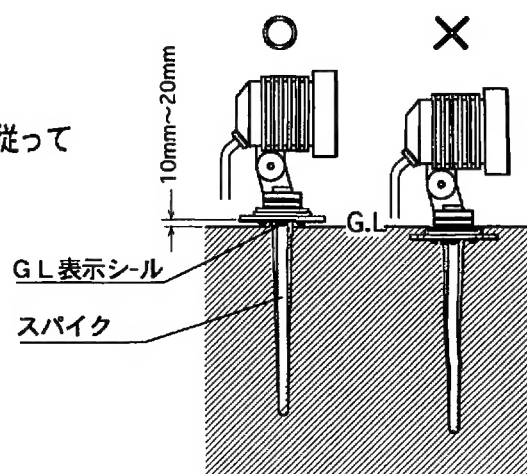
⚠注意 ❗ 土壌のしっかりした所へ取付けてください。
砂利等の土質の柔らかい場所に埋め込む場合は、コンクリート等でスパイク部を固定してください。
★土質の柔らかい場所や不安定な所へ埋め込むと器具の転倒や器具の破損、焼損の原因となります。

● 取り付け方　⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

1、スパイクを取り付けます。

①D種(第3種)接地工事(アース工事)を施してください。
D種(第三種)接地工事（アース工事）は、電気設備技術基準に従って確実に行ってください。

★接地（アース）が不完全な場合は、感電事故の原因となります。

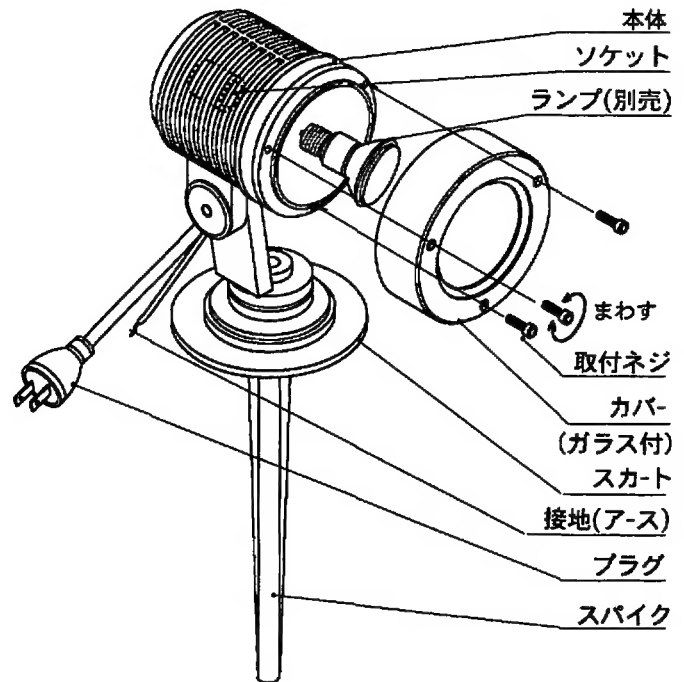
②スカートとG.Lとの隙間が約10mm~20mm程度まで埋め込んでください。

⚠ 警告 ❗ しっかりと埋め込まれたかを確認してください。
★埋め込みが不十分な場合、器具の転倒による破損、焼損の原因となります。

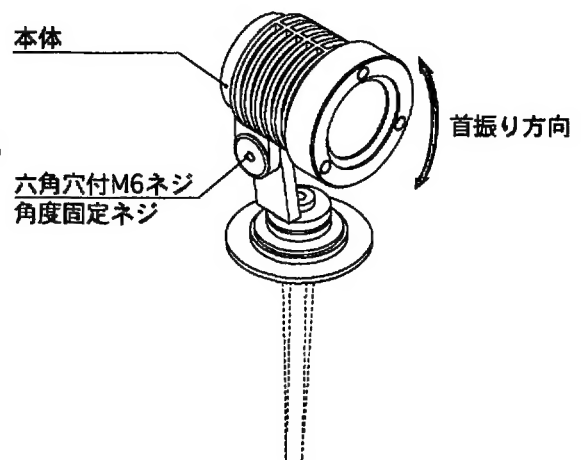
❗ スカートより上まで埋め込まないでください。
★埋め込みすぎた場合、器具の機能を損ない、故障の原因となります。

2、カバーをはずします。
カバ-（ガラス付き）の
取付ネジ3本をはずします。

3、ランプをソケットに合せてねじ込みます。

⚠ 注意
❗ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてケガをする恐れがあります。

4、カバーをセットします。
カバ-（ガラス付き）を本体の
ネジ穴に合わせ、取付ネジ3本で
均等に締め込んでください。

5、任意の照射方向に器具を合わせてください。

首振り方向は、
角度調節をして角度固定ネジを締め込んでください。

●スイッチ操作

●プラグの抜き差しによってＯＮ-ＯＦＦ操作を行います。

⚠ 警告 ❗プラグの抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。
★コ-ドを引っ張るとコ-ドを傷めて、感電事故やショ-トによる火災の原因となります。

⚠ 警告 ❗プラグは防水仕様になっていません。
軒下、屋内等のプラグに直接雨のかからないコンセントから
電源をとってください。
★感電事故の原因となります。

●プラグのコ-ドは人の通る場所では露出しない様にしてください。
★コ-ドを引っ掛け、ケガ、コ-ドの切断の原因となります。

●長時間使用しない場合や、メンテナンス時はコンセントを抜いてください。

● お手入れについて ⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を； 照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

● ランプ交換について： 器具にあったワット数のランプをお求めください。

⚠ 注意

❗● ランプの交換やお手入れをするときには、必ず、スイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

● スイッチを切った直後のランプは熱くなっています絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオルなどを使って交換してください。 ★火傷の原因となります。

● 濡れた手で触らないでください。 ★感電事故の原因となります。

⊘● ランプは乱暴に扱わないでください。 ★ランプが割れてケガをする恐れがあります。

● 適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると異常過熱による火災の原因となります。

● シンナ-やベンジンなど揮発性の薬品やクレンザ-などは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

■ランプの交換

1 プラグをコンセントから抜きます。

⚠注意❗プラグの抜き差しは、必ずプラグを持って行ってください。
★コードを引っ張るとコードを痛めて、感電事故やショートによる火災の原因となります。

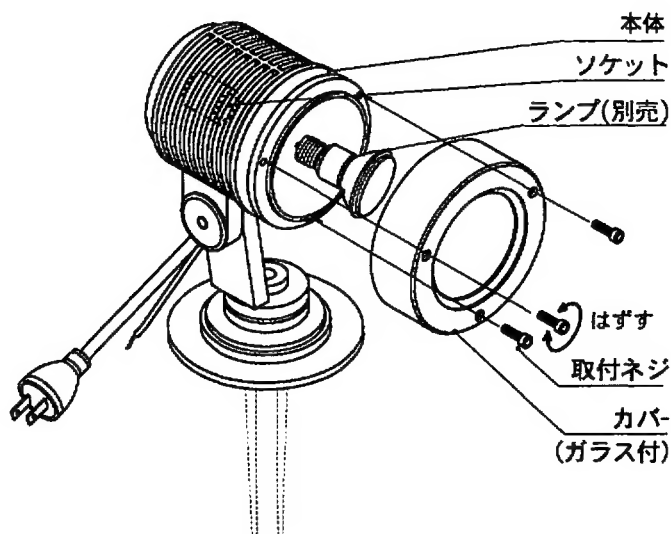
2 カバ-（ガラス付き）をはずします。
取付ネジ3本をはずして
カバー（ガラス付き）をはずします。

3 ランプを交換します。

⚠ 注意
❗ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてケガをする恐れがあります。

4 カバ-（ガラス付き）をセットします。
『取り付け方』4 の項目をご参照ください。

⚠ 注意
❗ ランプの交換などでカバーをはずした場合など、パッキンなどの小部品の付け忘れに注意してください。

★部品どうしの組み合わせが悪くなり、防水性が損なわれる原因となります。

■ お手入れのしかた

1.スイッチを切ります。
2.柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3.汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4.最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■ アフタ-サ-ビスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し
器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）故障の状況、ご使用期間をご確認の上、
お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サ-ビス受付窓口までご相談ください。